



Supported by
日本財団
THE NIPPON
FOUNDATION

平成 26 年 度

海を守る植樹教育事業

B&G 植樹リーダー研修会

平成 26 年 5 月 14 日(水)～16 日(金)

公益財団法人 ブルーシー・アンド・グリーンランド財団

B&G 「海を守る植樹教育事業」 基本理念

～ 小さな苗木で大きな海を ～



平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災により、科学技術が発達した現代社会において、改めて自然の脅威を知らされました。しかし、私たちにとって自然は脅威であるだけではありません。私たちの暮らしは、森・川・海など自然の恵みを受け、自然を基盤に成り立っていることを忘れてはいけません。

海に囲まれた日本は、同時に、世界有数の森林国でもあります。今こそ、**未来を担う子どもたちに自然に対する^{おそ}畏れや重要な役割、素晴らしさを教え、自然を守り、共に生きていく心を育むことが必要**です。

B & G 財団は、「青い海」と「緑の大地」を守り、自然と共生できる青少年の健全育成を推進していきます。

第 1 に、B & G 財団は、次世代に持続可能な社会を健全な姿で引き継いでいくため、未来を担う子どもたちの**環境に対する知識や実践力を高める環境教育活動**を行います。

第 2 に、森－川－海のつながりに着目し、豊かな「海」を守るために「森」の大切さを子どもたちに伝え、**どんぐりから苗を育て植樹する体験型の環境学習**を普及します。



第 3 に、B & G ネットワークを活用し、全国の海洋センター・海洋クラブを拠点とした森づくりによる**地域の防災林の整備**を支援します。

第 4 に、海洋センター・海洋クラブを窓口として、地域住民・NPO・地元企業・学校などと協働して「海を守る植樹教育事業」を進め、**地域の活性化**を図ります。

第 5 に、その土地本来の樹種による森づくりの重要性を訴える、横浜国立大学宮脇昭 名誉教授が提唱する「**宮脇方式**」で**育苗・植樹**を行い、「土地本来のふるさとの森づくり」につなげていきます。

資料目次

1. スケジュール
2. 参加者名簿
3. 基調講演 「いのちを育むふるさとの森づくり」
講師：宮脇 昭 横浜国立大学名誉教授
(公財)地球環境戦略研究機関 国際生態学センター長
4. 講義 「森の力について」 (環境教育)
5. 実習 「森を歩く」 (フィールドワーク)
講師：林 寿則 (公財)地球環境戦略研究機関 国際生態学センター研究員
6. 育苗実習 「ドングリの育て方」
講師：(株)研進および社会福祉法人 進和学園
7. 植樹実習 「基盤整備から植樹までとその後の管理」
講師：高野 義武 NPO 法人国際ふるさとの森づくり協会 (レナフォ) 理事長
8. 事例発表 「島を守ろう！ふるさとの森づくり」
発表者：池田 剛 鹿児島県 与論町B&G海洋センター 植樹リーダー
9. ふるさとの木調査状況
10. 見学地
 - (1) しんわルネッサンス 建物周辺
 - (2) どんぐりハウス・まじえるハウス
11. 添付資料
 - (1) 植樹の必要性と目的
 - ① 植樹の効果
 - ② 学校教育との関連
 - (2) 森の役割

- (3) 森が海に与える影響（森の腐植土と鉄の緊密な関係）と磯やけの防止
 - ① 鉄は大きな粒子
 - ② 極微量の鉄イオン
 - ③ 鉄の供給源
- (4) 「宮脇方式」の植樹とは
- (5) 植樹までの流れ
 - ① 全体の流れ
 - ② ドングリ拾い
 - ③ ドングリまき付け
 - ④ ポット移し替え
 - ⑤ 植樹方法
- (6) 行事計画例
- (7) 財団からの支援内容
 - ① 支援の内容
 - ② 植樹事業実施にかかる費用試算
 - ③ 事務手続き
- (8) 植樹参考図書
- (9) 植樹参考ホームページ
- (10) ドングリ遊び・作る楽しみについて（資料別紙）
- (11) 野外の危険な動植物（資料別紙）
- (12) 平成 25 年度植生調査実施地一覧・穴水町調査報告書

1. スケジュール

*** 平成26年度「B&G植樹リーダー研修会」 ***

日 時：平成26年 5月14日（水）13:30～17:15（研修終了後 情報交換会）
5月15日（木）08:20～17:40
5月16日（金）08:30～11:40 2泊3日

会 場：

- 1) 講 義
社会福祉法人 進和学園「しんわルネッサンス」（神奈川県平塚市上吉沢 1520-1）
- 2) 実 習
しんわルネッサンス、湘南平、どんぐりハウス等
- 3) 調査発表・懇親会・宿泊
ホテルサンライフガーデン（神奈川県平塚市榎木町 9-41）

参加者：

- 1) 平成26年度に「海を守る植樹教育事業」を実施する海洋センター・海洋クラブ
代表者各1名（ただし、以前に研修を受けているところを除く） 25名
- 2) 自治体派遣研修者 3名
- 3) B&G財団職員 2名

目 的：海を守る植樹教育事業を実施する海洋センター・海洋クラブに対し、海の環境を守るための森林の重要性、水と生命の循環などの環境教育や防災に関する知識・情報を提供する研修会を実施し、事業推進の指導員を養成する。

内 容：植樹方式として採用する「宮脇方式」の提唱者である宮脇先生の講義を始め、子供たちへ森林の重要性を教える方法や実際に育苗・植樹・育樹に必要な知識の提供および実習を行う。

【研修内容】


- 1) 基調講演：「いのちを育むふるさとの森づくり」
講師 横浜国立大学名誉教授
(公財)地球環境戦略研究機関 国際生態学センター長 宮脇 昭
- 2) 講 義：「森の力について」
…(公財)地球環境戦略研究機関 国際生態学センター 研究員 林 寿則


- 3) ふるさとの木調査結果：結果についての考察
… (公財) 地球環境戦略研究機関 国際生態学センター 研究員 林 寿則
- 4) 事例発表：「島を守ろう！ふるさとの森づくり」
… 鹿児島県 与論町 B&G 海洋センター 植樹リーダー 池田 剛
- 5) 実 習：
① フィールドワーク 「森を歩く」
… (公財) 地球環境戦略研究機関 国際生態学センター 研究員 林 寿則
- ② 育苗実習「ドングリの育て方」
… (株) 研進および社会福祉法人 進和学園講師
- ③ 植樹実習「基盤整備から植樹までとその後の管理」
… NPO 法人 国際ふるさとの森づくり協会 (レナフォ) 理事長 高野 義武
… (株) 研進および社会福祉法人 進和学園講師
- ④ 見 学 … (株) 研進 社長 出縄 貴史 他
- 6) その他：
① 日本財団事業紹介
… 日本財団 公益・ボランティア支援グループ 公益チーム 枡方 瑞恵
- ② B&G 財団からの事例紹介
- ③ 情報交換会


研修スケジュール

時間	平成26年 5月14日(水)		時間	5月15日(木)	
			8:00	ホテル出発 移動 湘南平へ (20分)	ホテル
			8:20	* 実習① (120分) 「森を歩く」 (公財)地球環境戦略研究機関 国際生態学センター 林 寿則 研究員	湘南平
			10:20	休憩	
			10:30	移動 どんぐりハウスへ (20分)	
			10:50	* 見学② (30分) どんぐりハウス	
			11:20	* 実習② (50分) 「ドングリの育て方」 進和学園講師 〔・どんぐりの蒔きつけ ・鉢上げ ・管理方法 など〕	どんぐりハウス
			12:10	移動 しんわろネッサンスへ	
			12:30	昼食	食堂
			13:30	* 授産事業見学	工場
12:30	駅集合 平塚駅バス迎え 移動 しんわろネッサンスへ	平塚駅南口 ロータリー	13:50	* 実習③ (160分) 「基盤整備から植樹までとその後の管理」 NPO法人 国際ふるさとの森づくり協会 高野 義武 理事長 および進和学園講師 〔・昨年度植樹地見学 ・土壌基盤整備 ・植樹準備作業 ・植樹 ・マルチング ・草刈 など〕	隣り敷地
13:00	受付	ロビー			
13:30	* 開会式 ・役員挨拶 ・しんわろネッサンス挨拶	食堂			
13:45	* 基調講演 (80分) 「いのちを育むふるさとの森づくり」 (公財)地球環境戦略研究機関 国際生態学センター 宮脇 昭 センター長 (一般の皆さんも参加) * 記念撮影	中庭			
15:10	* 見学① (20分) しんわろネッサンス周辺	しんわろネッサンス 周辺	16:30	休憩	
15:30	休憩		16:50	* 事例発表 (30分) 「島を守ろう！ふるさとの森づくり」 鹿児島県与論町 池田 剛 植樹リーダー	第1・2研修室
15:40	* 講義① (80分) 「森の力について(環境教育)」 (公財)地球環境戦略研究機関 国際生態学センター 林 寿則 研究員	第1・2研修室	17:20	* B&G財団からの事例紹介 (10分) 「育苗事業の実施方法」	
17:00	* 日本財団事業紹介 (10分) 日本財団 公益チーム		17:40	移動 ホテルへ (30分)	
17:15	移動 ホテルへ		18:10	ホテル着	ホテル
17:40	ホテルチェックイン	ホテル	18:20	夕食①	レストラン
18:00	* 情報交換会 ・参加者自己紹介 ①1.5分×30人	ホテル宴会場	19:00	夕食②	
19:30	1日目終了			2日目終了	
宿泊先：ホテルサンライフガーデン 〒254-0025 神奈川県平塚市榎木町9-41 TEL:0463-21-7111			宿泊先：ホテルサンライフガーデン 〒254-0025 神奈川県平塚市榎木町9-41 TEL:0463-21-7111		

時間	5月16日(金)	
8:30	* 事前調査へのコメント (140分) 林 寿則 研究員 @5分×23ヶ所 (途中、休憩10分)	ホテル
10:50	休憩	
11:00	B & G 財団からの連絡 (事務手続き等について)	
11:20	閉会式 ・役員挨拶・修了証授与	
11:40	移動 (10分)	
12:00	パン支給 解散 (平塚駅)	平塚駅南口

 : 講演・講義

 : 実習・見学

 : その他

2. 参加者名簿

No.	区分	道府県	センター・クラブ名	参加者名	備考
1	育苗・植樹	大分県	中津市耶馬溪B&G海洋センター	山本 雄一	
2	育苗	北海道	東神楽町B&G海洋センター	吉田 裕哉	
3		宮城県	大郷町B&G海洋センター	佐藤 聖大	
4		秋田県	男鹿市B&G海洋センター	船木 一騎	
5		栃木県	下野市国分寺B&G海洋センター	近藤 隆博	
6		石川県	七尾市B&G海洋センター	岩本 榮三郎	
7			志賀町富来B&G海洋センター	戸野 陽介	
8		長野県	飯島町B&G海洋センター	片桐 匠	
9		岐阜県	川辺町B&G海洋センター	木下 宙	
10			富加町B&G海洋センター	森 大征	
11			中津川市付知B&G海洋センター	片田 洋一郎	
12		兵庫県	上郡町B&G海洋センター	中尾 一夫	
13		岡山県	奈義町B&G海洋センター	芦田 孝弘	
14		山口県	長門市日置B&G海洋センター	河本 洋人	
15		福岡県	大任町B&G海洋センター	佐々木 一成	
16		長崎県	B&G佐世保海洋クラブ	藤田 幸一郎	
17		大分県	宇佐市安心院B&G海洋センター	家永 健児	
18		熊本県	南関町B&G海洋センター	仁田原 理	
19			あさぎり町免田B&G海洋センター	野々脇 匠一	
20		鹿児島県	阿久根市B&G海洋センター	川邊 啓一	
21			南さつま市坊津B&G海洋センター	現王園 仁志	
22			奄美市笠利B&G海洋センター	前島 秀一	
23		沖縄県	本部町B&G海洋センター	大城 政幸	
24		鹿児島県	阿久根市B&G海洋センター	平石 龍喜	
25		長崎県	B&G佐世保海洋クラブ	渡辺 勇一	
26		自治体派遣	三重県	志摩市B&G海洋センター	加藤 真央
27	茨城県		北茨城市B&G海洋センター	平尾 卓	
28	福井県		大野市B&G海洋センター	堀 利考	
29	B&G財団職員			鈴木 慶	
30				斎藤 大	

NO. 26～28 の 3 名は、海洋センター所在自治体から 1 年間 B&G 財団に派遣され研修中
 NO. 29～30 の 2 名は、B & G 財団職員

なお、平成 26 年度は上記以外に、下記の 9 ヶ所が「植樹」を共催または自主開催で実施します。
 (平成 24 年度または 25 年度に研修会参加済み)

本年度植樹リーダー研修会未参加の植樹実施地

No.	区分	道府県	海洋センター・クラブ名
1	植樹(共催)	埼玉県	松伏町B&G海洋センター
2		愛媛県	愛南町御荘B&G海洋センター
3		高知県	津野町東津野B&G海洋センター
4	植樹(自主開催)	岩手県	普代村B&G海洋センター
5			奥州市前沢B&G海洋センター
6		神奈川県	B&G葉山海洋クラブ
7		福井県	勝山市B&G海洋センター
8		三重県	いなべ市大安B&G海洋センター
9		鹿児島県	与論町B&G海洋センター

H24 年度、H25 年度の育苗・植樹事業実施地

県名	センター・クラブ名	H24 年度	H25 年度
北海道	せたな町	育苗	植樹
	鷹栖町		育苗
	遠別町		育苗
	美幌町		育苗
	苫前町	育苗・植樹	
	小樽クラブ		育苗
岩手県	普代村	育苗・植樹	
	奥州市前沢		育苗・植樹
福島県	小野町	育苗	
埼玉県	久喜市栗橋		育苗
	松伏町	育苗	
神奈川県	葉山クラブ	育苗	
新潟県	胎内市中条	育苗	
石川県	穴水町		育苗・植樹
福井県	勝山市	育苗	
	大野市	育苗	
静岡県	掛川市大東		育苗
	掛川市		育苗
	掛川市大須賀		育苗
三重県	いなべ市大安	育苗	
滋賀県	長浜市浅井	育苗	
兵庫県	豊岡市竹野	育苗	
	伊丹クラブ	育苗	
	家島クラブ		育苗
鳥取県	鳥取市気高	育苗	
島根県	雲南市加茂		育苗
岡山県	美作市作東	育苗・植樹	
広島県	北広島町芸北	育苗	
山口県	周防大島町		育苗
徳島県	徳島市	育苗・植樹	
	阿南市		育苗
	牟岐町	育苗	
香川県	池田クラブ	育苗	
愛媛県	久万高原町久万		育苗
	愛南町御荘	育苗	
高知県	津野町東津野		育苗
	香美市香北		育苗
佐賀県	鹿島市		育苗
熊本県	湯前町	育苗	
鹿児島県	与論町	育苗	植樹
沖縄県	伊江村		育苗
	名護市		育苗

育苗	18	18
育苗・植樹	4	2
植樹	0	2
合計	22	22

3. 基調講演

「いのちを育むふるさとの森づくり」

講師：宮脇 昭

横浜国立大学名誉教授

(公財) 地球環境戦略研究機関

国際生態学センター長



【プロフィール】

理学博士 Akira Miyawaki, Professor Dr. of Sci.

1. 略 歴

- 1928年 岡山県に生まれる
- 1925年 広島文理科大学生物科卒業
- 1972年 横浜国立大学教育学部教授
- 1973年 横浜国立大学環境科学研究センター教授
- 1993年 横浜国立大学退官（同大学名誉教授）後、
(財)国際生態学センター研究所長に就任
- 1993年 (財)横浜市緑の協会特別顧問
- 1996年～ 2004年 長野県自然保護研究所所長
- 1996年～ 1999年 国際植生学会（IAVS）副会長
- 1980年～ 2004年 国際生態学（INOTECOL）会長
- 2008年 (財)地球環境戦略研究機関と統合
(財)地球環境戦略研究機関・国際生態学センター長
- 2008年 NPO 法人国際ふるさとの森づくり協会 特別顧問
- 2012年 (財)瓦礫を活かす森の長城プロジェクト 副理事長

2. 学会および社会における活動等

- 1974年～ 2001年 通産省エネルギー庁環境審査会顧問
- 1978年～ 日本ユネスコ国内委員会自然科学小委員会調査委員
- 1980年～ 2002年 国際植生学会副会長
- 1981年 西独ゲッチンゲン大学より名誉理学博士号
- 1981年 西独ザールランド大学より名誉哲学博士号
- 1984年 タイ国立メージョウ農工大学名誉農学博士号
- 1987年～ 1990年 国際生態学会（INTECOL）副会長
- 1996年～ 1999年 国際生態学会（INTECOL）会長
- 1997年 ドイツハノーバー大学より名誉理学博士号
- 1997年～ 国際植生学会 名誉会員
- 2000年～ 華東師範大学顧問教授
- 2006年 地球環境国際賞「ブループラネット賞」受賞
マレーシア農科大学より名誉林学博士号
- 2014年 「KYOTO 地球環境の殿堂」入り

4. 講義

「森の力について」

5. 実習

「森を歩く」

講師：林 寿則

(公財) 地球環境戦略研究機関
国際生態学センター研究員
博士 (環境学)



【プロフィール】

1967年10月 神奈川県川崎市生まれ

<学歴>

1991年3月 日本大学農獣医学部農学科卒業
1994年3月 横浜国立大学大学院工学研究科計画建設学専攻
(博士課程前期) 修了 工学修士
2010年12月 横浜国立大学大学院環境情報学府 博士課程後期 修了

<職歴>

1991年4月 民間建設会社
2002年6月 (財)国際生態学センター 研究員
2007年4月～ (財)地球環境戦略研究機関 国際生態学センター 研究員

<最近の研究活動>

丹沢大山総合調査
ユネスコ MAB 生物圏保存地域植生調査 (白山)
自然公園等整備事業に係る植生調査 (福井県)
道路法面における森林再生事業
防災環境保全林の形成と生長調査
ケニア共和国植生回復プロジェクト
樹木の防火機能に関する実験研究
学校の森づくり (2009～)

6. 育苗実習 「どんぐりの育て方」

※ 植樹実習「基盤整備から植樹までとその後の管理」も指導

講師：(株) 研進



代表取締役、(社) 日本発達障害連盟 理事

出縄 貴史 (イデナワ タカシ)

社会福祉法人進和学園の営業窓口である(株) 研進の代表として、進和学園と一致協力して障害者の自立・就労支援に取り組んでいます。三井住友海上に27年間勤務した経験を活かし、企業的な営業手法を「福祉」の現場に導入することに尽力しています。ホンダ車部品の組立加工を中心に、「いのちの森づくり」プロジェクトや進和学園自主製品の販売を推進し、企業・専門家との連携を通じて「福祉的就労」の先陣を切ることが目標です。現場からの問題意識を踏まえ、施策・制度改善の提言に繋げ、「日本の福祉を変える！」という意気込を大切にしたいと思っています。



専務取締役

須藤 亮 (スドウ マコト)

一級建築士として19年間ゼネコンで設計業務をした後、2001年より研進で本田技研工業様の業務を担当しています。社長と共にどんぐりプロジェクトに携わり、最近は植樹方法などもかなり分かる様になりました。ポット苗は、生き物なので「愛情」が一番だと思っています…。最近は、新スタッフが増え他の仕事そっちのけで作業する事は少なくなりましたが、今後も趣味と実益を兼ねてやり続けていきたいと思っています。



進和学園いのちの森づくりプロジェクトリーダー

川下 都志子 (カワシタ トシコ) 植生工学士・B&G 植樹リーダー

日本の高度経済成長の陰で物言わぬ自然が姿を消していくことに危機感を抱いておりました。2008年の環境フォーラムで(社福)進和学園と出会い、障がいをもつ方々がどんぐりから苗を育て、環境保全の為に植樹しているという事例は、私自身の人生観を覆す劇的なパラダイム転換となりました。今は、進和学園「どんぐりグループ」と福祉間連携「どんぐりブラザーズ」の活動PRの為に、植樹関連イベントやグッズを企画しながらグループと育樹や植樹祭等にも参加しております。進和学園『いのちの森づくり』プロジェクトは、自然環境改善のみならず、就労型の福祉施設における工賃安定化・外部の方々との交流による社会参加、双方への教育と良いこと尽くしです。



業務リーダー

奥村 佳代子 (オクムラ カヨコ) 植生工学士・B&G 植樹リーダー

東京に生まれ「どんぐり」で遊ぶ経験も無く、「タブノキ」を知らないまま東京で育ち宮脇先生の森づくりに感銘を受けて7年です。ドライブ、寺社詣、温泉巡りなどの趣味も楽しめるので、国内各地の森づくりの現場などに出発しています。現在、研進スタッフとして進和学園どんぐりグループと共に苗木づくりのお手伝いをしながら、樹木のことやいのちの森づくり全般について勉強中です。

社会福祉法人 進和学園



どんぶり隊長

遠山 雄志 (トオヤマ ユウジ) 植生工学士

前職は建築関係の仕事をし、主に下水道工事等土木工事の施工管理をしていました。会社が倒産寸前になり会社を離れ、2002年から進和学園で働いています。本田技研工業(株)様の部品組立てに関わる作業をしていましたが、リーマンショック以降の作業量減少により、苗木づくりの担当となりました。最初は苗木を見ても同じようにしか見えなかったものが、多くの樹種の名前がわかるようになり、2010年にはNPO 法人国際ふるさとの森づくり協会のふるさとの森づくり専門家(植生工学士)の資格も取らせて頂きました。これからも頑張りたいと思います。



どんぶりグループ

須藤 求巳 (スドウ モトミ) 植生工学士

5年前より「進和学園」の職員としてビニールハウスで苗木づくりやハウス管理をしています。前職は機械部品加工の仕事を37年間営んで参りました。福祉関係の仕事、植物の世話など、まったく初めての経験で最初は戸惑いましたが、金属から植物に代わっても“物づくり”という点で共通することが多々ありました。今では心優しい「どんぶりグループ」の皆様と豊かな自然環境の中で仕事が出来本当に幸せです。今後とも「いのちの森づくり」を推進するスタッフの一員として頑張りたいと思います。



どんぶりグループ

苔米地 有紀 (トマベチ ユキ)

どんぶりグループで利用者の皆様と一緒に、どんぶり・種拾いから、育苗・出荷・植樹祭などの仕事をしています。5月で5年目を迎えます。日々のプチ森林浴のおかげで毎日のごはんがおいしいです。



どんぶりグループ

藤川 浩児 (フジカワ コウジ)

進和学園に就職し16年。その間、部品組立、工芸、陶芸、製粉と色々な作業に携わってきました。昨年、4月よりどんぶりグループに参加し、新たな挑戦をすることとなりました。どんぶりの苗木作りの活動を中心に、いのちの森づくりを行なっています。まだまだ未熟ですが、自然は大好きなので頑張りたいと思います。

